

## 2018年11月度 高島屋営業報告

### 〔売上高 総計〕

(前年比 単位:%)

株 高 島 屋	Δ2.0
---------	------

株高島屋 および 国内百貨店子会社	Δ2.0
----------------------	------

### 〔店舗・事業部別 概況〕

(前年比 単位:%)

	売上高	入店客数		売上高	入店客数
大 阪 店	+3.3	+8.1	大 宮 店	+0.1	Δ2.3
堺 店	Δ9.4	Δ0.6	柏 店	+2.6	+2.3
京 都 店	+1.8	Δ1.5	株 高 島 屋 国内百貨店13店舗	Δ0.5	+3.8
泉 北 店	+2.6	Δ2.9	岡 山 高 島 屋	Δ0.3	Δ0.7
日 本 橋 店	Δ3.8	+58.0	岐 阜 高 島 屋	Δ5.8	Δ8.7
横 浜 店	Δ3.0	Δ3.5	米 子 高 島 屋	Δ2.3	Δ14.0
港 南 台 店	Δ2.1	Δ3.5	高 崎 高 島 屋	+0.5	Δ18.9
新 宿 店	+0.4	+1.3	株高島屋国内百貨店 および 国内百貨店子会社17店舗	Δ0.6	+2.9
玉 川 店	Δ1.4	Δ1.5	法 人 事 業	Δ27.9	
立 川 店	Δ10.0	+5.3	クrossメディア事業	+8.2	

※京都店の売上高は「洛西店」を含みます。

横浜店の売上高は「タカシマヤフードメゾン 新横浜店」「タカシマヤスタイルメゾン海老名店」を含みます。

柏店の売上高は「タカシマヤフードメゾン おおたかの森店」、岡山店の売上高は「タカシマヤフードメゾン 岡山店」を含みます。

※日本橋店は9月からレストラン街の運営を子会社に移管したため、それらを調整した実質では前年比Δ2.1%となります。

### 〔商品別売上高〕

(前年比 単位:%)

	株高島屋	株高島屋および 国内百貨店子会社		株高島屋	株高島屋および 国内百貨店子会社		株高島屋	株高島屋および 国内百貨店子会社
衣料品	Δ4.5	Δ4.9	食料品	+1.8	+1.9	サービス	Δ9.7	Δ9.7
紳士服・洋品	Δ10.5	Δ10.5	生鮮食品	Δ3.7	Δ3.3	その他	Δ0.9	Δ1.0
婦人服・洋品	Δ3.1	Δ3.5	菓 子	+5.2	+5.1	合 計	Δ2.0	Δ2.0
子供服・洋品	Δ7.6	Δ7.8	惣 菜	+1.1	+1.1			
その他衣料品	+5.4	+4.2	そ の 他	+3.2	+3.4			
身のまわり品	+3.4	+3.5	食堂・喫茶	Δ15.6	Δ15.1			
家庭用品	Δ28.8	Δ27.3	雑貨	+5.3	+4.7			
家 具	Δ7.2	Δ7.2	化粧品	+4.9	+4.5			
家 電	Δ88.3	Δ88.2	美術・宝飾品・貴金属	+9.6	+8.5			
その他家庭用品	Δ2.9	Δ2.6	そ の 他	Δ1.6	Δ2.1			

○百貨店は、高額品や免税売上が伸長したものの、コートやマフラーなどの防寒アイテムの動きが鈍かったことに加え、文化の日が土曜日に重なった影響などもあり、前年を下回りました。なお免税売上は前年比+8.5%となりました。

12月度の店頭売上は、13日までの累計が前年比Δ1.9%、免税売上は同+11.1%で推移しています。

○日本橋店・立川店・堺店・米子店は前年同月比で売場面積が縮小しております。

○日本橋高島屋S.C.(9月25日)の開業効果もあり、日本橋店は入店客数が大きく伸長いたしました。

○法人事業は、前年の大口受注の反動により、前年比マイナスとなりました。